

老朽原発再稼働中止の意見書提出等を求める請願

1 趣 旨

関西電力の幹部役員が、森山元高浜町助役から3億2,000万円を超える金品を供与されていたことが、9月27日に岩根社長の記者会見にて明らかになった。さらに、岩根社長など関西電力幹部役員は、これらの事について取締役会にも諮らず1年間以上隠蔽し続けていた。この間の岩根社長などの記者会見だけでは、真実が語られているとは思えない。原発立地地元の福井県民と国民の信頼を裏切った代償は極めて大きい。

今回の件について、国民の信頼を取り戻す一歩として、国民が納得できる徹底した真相究明を求めるとともに福井県議会も、これから提出される第三者委員会の調査報告書に対し、公平で厳格な審議を行い、審議結果を関西電力に再度申し入れするよう願う。

また、今後再稼働を予定している、建設後45年を超えた高浜原発1号機、44年を超えた2号機、43年を超えた美浜原発3号機について、次の理由により、我々は再稼働に反対する。

1. 原子力発電所は、堅固な建物で覆われ、厳重に管理された機器で運転しているが、この中で発生する強力な放射線や中性子線は、日々これらの物を大きく傷つけている。長く運転を続けるとそれらの物がどんどん安全使用の限界を超えている。
2. もし原発が大事故を起こすことになれば、放出放射能の影響で、人が近づいて事故を収束することは極めて難しい。
3. 現在、原発で作られている電気は、国の電力需要の2%程度でしかない。原発で電気を作るためだけに危険を冒す必要がない。

老朽原発は、大事故発生の危険性が高く、一旦大事故が発生すると福井県のほとんどに住めなくなることや何万人もの健康をむしばみ、命を奪うことになると思っ

ている。
私たちの故郷を守り、私たちが今この地で暮らし続けられるように、この請願に対して特段の御理解をお願いする。

下記の請願について該当する方に意見書の提出と申し入れをしていただくようお願いする。

記

1. 社会問題に発展している関西電力幹部役員の金品受領は、関電社内ガバナンスとコンプライアンスの欠落が原因であり、このような会社に危険な原発を動かす資格がないと考える。稼働40年超の老朽原発である高浜1号機・2号機と美浜3号機の再稼働は将来への危険性も高い上に、電力事業者の闇にある依存の構造がある限り、再稼働しないよう安倍総理大臣、衆参両議院議長に意見書の提出と関西電力社長に申し入れを行ってほしい。

2 提 出 者

オール福井反原発連絡会 代表 中 篤哲演

3 紹 介 議 員

佐藤正雄

4 受理年月日

令和元年11月26日